

役員所感

副理事長 佐藤 利彦

愛する郷土の発展のため未来の地域の発展を願い、新幹線開通を実現させるために誕生した上越青年会議所は、本年創立50周年を迎えます。先輩諸兄の英知と勇気と情熱によって、地域社会の発展のため幾多の困難を乗り越えた功績をもとに、郷土の光り輝く未来を信じ、学び、そして行動する責任世代であることを自覚し、公益社団法人として「より公に資する」運動を展開することで、明るい豊かな社会を創造することが必要不可欠です。

そのような社会を創造するためには、今まで以上に人と人とのつながり、関係団体とのつながりを重点に考え活動していく必要があります。メンバー同士での損得勘定はいりません。必要なのは、「助け合い・思いやり」という精神です。この精神を礎にすることによりメンバー一人ひとりがつながっていき、最後には上越青年会議所が一つの想いのもと一丸となり活動していく力となります。また、メンバー同士が助け合い、思いやってくれた関係を構築していくことで上越青年会議所だけのつながりではなく、今後の仕事や生活でのよき理解者・仲間となって自分を支えてくれる存在になってくれるはずです。さらには、関係する様々な団体とのつながりにおいても助け合い、思いやり、そして一緒に活動していくことで信頼関係が構築され、今まで以上に活動の幅が広がりより高い目標に向かって活動していくことができます。そんな信頼できる仲間や関係する様々な団体と心をつなぐ目的へ向かう強い想いと思いやりの心を持って一緒に活動を行うことで今まで以上に自分自身が成長でき、そして愛する郷土の発展にもつながっていくものと確信しています。

結びに、連綿と続くこの上越青年会議所を永続的に発展させるため、我々同士が使命感と責任感を持って高みを目指し成長し続け、公に資する運動や活動を展開することで公益社団法人としての組織を確立し「明るく豊かな社会の構築」の実現のため一路邁進いたします。